



業況DIは1.1ポイントの低下

～令和4年1・3月期中小企業景気動向調査結果～

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）では、四半期ごとに県内中小企業の景気動向等を把握するため、県内中小企業2,000社を対象とした「中小企業景気動向調査」を実施しています。

令和4年1・3月期の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

◇要 旨

1. 総合の業況DIは、前期比1.1ポイント低下の▲39.3となりました。
経営状況では、売上DIは前期比18.0ポイント低下の▲36.5、また、採算DIは同10.1ポイント低下の▲39.8となりました。
2. 業種別の業況DIでは、製造業は前期比1.5ポイント上昇の▲24.3となりました。中分類では、一般機械は同7.7ポイント上昇の▲13.2、電気機械は同6.9ポイント低下の▲23.6、輸送用機械は同2.8ポイント低下の▲39.6となりました。
建設業の業況DIは、前期比9.5ポイント上昇の▲7.3となりました。
商業・サービス業の業況DIは、前期比5.1ポイント低下の▲55.9となりました。中分類では、卸売業は同2.9ポイント上昇の▲45.2、小売業は同3.0ポイント低下の▲63.1、飲食店は同21.3ポイント低下の▲84.8、サービス業は同4.8ポイント低下の▲35.1となりました。
3. 今後の総合の業況DIを見ると、3か月後は現在比4.1ポイント低下の▲43.4、半年後は同2.0ポイント上昇の▲37.3を見込んでいます。
4. 企業からは、「原材料費の値上げにより、受注単価の割合が材料費の方が多く、加工費確保ができなくなっている。」「リーマン後に匹敵する悪さになってきた。」「オミクロン株の感染拡大により、飲食店の仕入れが減少し、取引先の売上高が減っています。3月頃までは厳しい状況が続くと思います。」などの声が聞こえました。

▼本件に関するお問い合わせ先

(公財) 神奈川産業振興センター (KIP)

(Kanagawa Industrial Promotion Center)

総務部総務課 上野

TEL 045-633-5101 FAX 045-633-5018

URL <https://www.kipc.or.jp/> E-mail: kikaku@kipc.or.jp

令和4年1-3月期中小企業景気動向調査結果

業況DIは1.1ポイントの低下

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和4年1-3月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

- ・調査時期：令和4年2月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業2,000社
- ・回答数（率）：1,011社（50.6%） ※詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象へ郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）※による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	334	60.7%
建設業	250	126	50.4%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	551	45.9%
合計	2,000	1,011	50.6%

2. 調査結果

（1）総合

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
業況DI	▲44.5	▲45.6	▲38.2	▲39.3	▲43.4	▲37.3
売上DI	▲33.3	▲34.4	▲18.5	▲36.5	—	—
採算DI	▲36.1	▲36.4	▲29.7	▲39.8	—	—

総合の業況DIは、前期比1.1ポイント低下の▲39.3となった。

経営状況では、売上DIは前期比18.0ポイント低下の▲36.5、また、採算DIは同10.1ポイント低下の▲39.8となった。

今後の業況DIを見ると、3か月後は現在比4.1ポイント低下の▲43.4、半年後は同2.0ポイント上昇の▲37.3を見込んでいる。

（2）業種別特徴

<製造業>

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
業況DI	▲36.1	▲28.4	▲25.8	▲24.3	▲28.5	▲25.9
売上DI	▲19.6	▲11.1	▲12.9	▲19.2	—	—
採算DI	▲30.8	▲22.3	▲27.4	▲31.2	—	—

製造業の今期の業況DIは、前期比1.5ポイント上昇の▲24.3となった。

経営状況では、売上DIは、前期比6.3ポイント低下の▲19.2、採算DIは同3.8ポイント低下の▲31.2となった。

「購入品の値上げと、客先での半導体とコロナの影響による減産で不調。」「コロナの影響で、部材の入手が悪く、生産も不安定。材料費の高騰がダメージとなっている。」「原材料費の値上げにより、受注単価の割合が材料費の方が多く、加工費確保ができなくなっている。」といった声があった。

今後の業況DIは、3か月後は現在比4.2ポイント低下の▲28.5、半年後は同1.6ポイント低下の▲25.9を見込んでおり、「半導体や部材の不足により、自動車業界がまともに稼働していない。半導体は回復傾向だが、部材の輸入停止が解消されないと、業績の回復は望めない。」「コロナ拡大が止まらず、納入先の工場等の設備作業が停止。先の見えない日々が続いている。」といった声があった。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
一般機械	▲41.5	▲23.6	▲20.9	▲13.2	▲17.0	▲26.1
電気機械	▲31.1	▲34.2	▲16.7	▲23.6	▲30.0	▲31.9
輸送用機械	▲34.5	▲25.9	▲36.8	▲39.6	▲37.5	▲16.7
その他	▲35.7	▲29.1	▲30.3	▲27.0	▲32.5	▲26.1

中分類で見ると、一般機械は前期比7.7ポイント上昇の▲13.2、電気機械は同6.9ポイント低下の▲23.6、輸送用機械は同2.8ポイント低下の▲39.6となった。

今後の業況DIは、3か月後は一般機械が現在比3.8ポイント低下の▲17.0、電気機械が同6.4ポイント低下の▲30.0、輸送用機械は同2.1ポイント上昇の▲37.5、半年後は一般機械が同12.9ポイント低下の▲26.1、電気機械が同8.3ポイント低下の▲31.9、輸送用機械は同22.9ポイント上昇の▲16.7を見込んでいる。

<建設業>

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
業況DI	▲29.1	▲27.7	▲16.8	▲7.3	▲33.6	▲36.1
売上DI	▲41.0	▲32.8	▲14.3	▲20.6	—	—
採算DI	▲29.9	▲31.1	▲22.6	▲30.4	—	—

建設業の今期の業況DIは、前期比9.5ポイント上昇の▲7.3となった。

経営状況では、売上DIは前期比6.3ポイント低下の▲20.6、採算DIは同7.8ポイント低下の▲30.4となった。

「コロナの影響で商品の入荷が遅れ、工期が決まっているので大変厳しい。受注案件が見通しがつきづらく、受注につながるまで厳しい。」といった声があった。

今後の業況DIは、3か月後は現在比26.3ポイント低下の▲33.6、半年後は同28.8ポイント低下の▲36.1を見込んでおり、「リーマン後に匹敵する悪さになってきた。」「諸材料の値上がりが止まらない、そのせいで受注に到らないケースが増え、見積業務だけが多くなっている。又、コロナにより大型案件が中止となり、民間でも価格面で相当に厳しい。」といった声があった。

<商業・サービス業>

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
業況DI	▲53.5	▲60.1	▲50.8	▲55.9	▲54.8	▲44.6
売上DI	▲40.6	▲49.3	▲22.9	▲50.7	—	—
採算DI	▲41.0	▲46.3	▲32.9	▲47.2	—	—

商業・サービス業の業況DIは、前期比5.1ポイント低下の▲55.9となった。

経営状況では、売上DIは前期比27.8ポイント低下の▲50.7、採算DIは同14.3ポイント低下の▲47.2となった。「海外からの仕入れ単価上昇、輸送費、円安に加え、得意先から値上げに応じてもらえず、苦しい状態が続いている。」「オミクロン株の感染拡大により、飲食店の仕入れが減少し、取引先の売上高が減っている。3月頃までは厳しい状況が続くと思う。」「仕入値が高くなっている。お客さんの購買意欲も低下しているし、コロナで例年の販売が先延ばしになる可能性などもある。全体的にみて業績は不調だと思う。」といった声があった。

今後の業況DIは、3か月後は現在比1.1ポイント上昇の▲54.8、半年後は同11.3ポイント上昇の▲44.6を見込んでいる。「コロナ禍の終息によるが、今後6～12か月以内に改善するとはとても思えない。」「消費が弱っているのか、価格が下落し、利益率が悪化。しばらくの間、この状況が続くそう。」といった声があった。

なお、商業・サービス業の各々の業況DIは以下の通り。

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
卸売業	▲51.0	▲47.2	▲48.1	▲45.2	▲51.5	▲38.8
小売業	▲51.1	▲69.8	▲60.1	▲63.1	▲62.6	▲51.6
飲食店	▲91.4	▲85.5	▲63.5	▲84.8	▲70.1	▲57.9
サービス業	▲39.9	▲41.3	▲30.3	▲35.1	▲36.1	▲30.1

業種別では、卸売業は前期比2.9ポイント上昇の▲45.2、小売業は同3.0ポイント低下の▲63.1、飲食店は同21.3ポイント低下の▲84.8、サービス業は同4.8ポイント低下の▲35.1となった。

今後の業況DIは、3か月後では卸売業が現在比6.3ポイント低下の▲51.5、小売業は同0.5ポイント上昇の▲62.6、飲食店は同14.7ポイント上昇の▲70.1、サービス業は同1.0ポイント低下の▲36.1、半年後では卸売業が同6.4ポイント上昇の▲38.8、小売業は同11.5ポイント上昇の▲51.6、飲食店は同26.9ポイント上昇の▲57.9、サービス業は同5.0ポイント上昇の▲30.1を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

		令和3年			令和4年		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
中規模	業況DI	▲35.8	▲38.8	▲30.5	▲35.9	▲39.4	▲32.6
	売上DI	▲23.8	▲27.8	▲9.3	▲32.5	—	—
	採算DI	▲26.6	▲30.9	▲27.1	▲37.4	—	—
小規模	業況DI	▲54.6	▲53.6	▲47.0	▲43.3	▲48.0	▲42.8
	売上DI	▲44.2	▲42.1	▲28.9	▲41.2	—	—
	採算DI	▲46.9	▲42.8	▲32.8	▲42.6	—	—

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比5.4ポイント低下の▲35.9、小規模企業は同3.7ポイント上昇の▲43.3となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比23.2ポイント低下の▲32.5、採算DIが同10.3ポイント低下の▲37.4、小規模企業は売上DIが同12.3ポイント低下の▲41.2、採算DIが同9.8ポイント低下の▲42.6となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3か月後が現在比3.5ポイント低下の▲39.4、半年後が同3.3ポイント上昇の▲32.6、小規模企業は3か月後が同4.7ポイント低下の▲48.0、半年後が同0.5ポイント上昇の▲42.8を見込んでいる。

(4) 地区別特徴（業況DI）

	令和3年			令和4年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期 見込	7-9月期 見込
横浜	▲51.9	▲52.5	▲43.7	▲37.6	▲47.4	▲37.1
川崎	▲35.4	▲41.4	▲28.4	▲28.7	▲39.4	▲32.0
横須賀	▲36.4	▲39.6	▲26.0	▲36.2	▲36.8	▲29.8
平塚	▲52.4	▲51.4	▲44.2	▲41.7	▲49.5	▲48.6
藤沢	▲43.0	▲45.5	▲29.8	▲37.5	▲37.5	▲37.5
相模原	▲40.9	▲38.6	▲36.8	▲45.2	▲40.0	▲37.8
厚木	▲32.2	▲36.9	▲38.5	▲36.8	▲41.7	▲37.0
足柄上・西湘	▲55.1	▲50.5	▲50.5	▲56.9	▲49.5	▲39.2

今期の地区別の業況DIは、

横浜地区（前期比6.1ポイント上昇の▲37.6）、川崎地区（同0.3ポイント低下の▲28.7）、横須賀地区（同10.2ポイント低下の▲36.2）、平塚地区（同2.5ポイント上昇の▲41.7）、藤沢地区（同7.7ポイント低下の▲37.5）、相模原地区（同8.4ポイント低下の▲45.2）、厚木地区（同1.7ポイント上昇の▲36.8）、足柄上・西湘地区（同6.4ポイント低下の▲56.9）となり3地区で上昇し、5地区で低下となった。

今後の業況DIは、3か月後は、

横浜地区（現在比9.8ポイント低下の▲47.4）、川崎地区（同10.7ポイント低下の▲39.4）、横須賀地区（同0.6ポイント低下の▲36.8）、平塚地区（同7.8ポイント低下の▲49.5）、藤沢地区（今期と同じ▲37.5）、相模原地区（同5.2ポイント上昇の▲40.0）、厚木地区（同4.9ポイント低下の▲41.7）、足柄上・西湘地区（同7.4ポイント上昇の▲49.5）となり2地区で上昇し、1地区で今期と同じ、5地区で低下すると見込んでいる。

半年後は、

横浜地区（現在比0.5ポイント上昇の▲37.1）、川崎地区（同3.3ポイント低下の▲32.0）、横須賀地区（同6.4ポイント上昇の▲29.8）、平塚地区（同6.9ポイント低下の▲48.6）、藤沢地区（今期と同じ▲37.5）、相模原地区（同7.4ポイント上昇の▲37.8）、厚木地区（同0.2ポイント低下の▲37.0）、足柄上・西湘地区（同17.7ポイント上昇の▲39.2）となり4地区で上昇し、1地区で前期と同じ、3地区で低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先

（公財）神奈川産業振興センター（KIP）

（Kanagawa Industrial Promotion Center）

総務部 総務課 上野

TEL:045-633-5101 FAX:045-633-5018

URL <https://www.kipc.or.jp/> E-mail:kikaku@kipc.or.jp

景気動向調査 (令和4年1月～3月期)

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業					総合
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業	小計	
回収数		334	126	106	227	82	136	551	1,011
業況判断	現在の業況	▲24.3	▲7.3	▲45.2	▲63.1	▲84.8	▲35.1	▲55.9	▲39.3
	3ヶ月後の業況	▲28.5	▲33.6	▲51.5	▲62.6	▲70.1	▲36.1	▲54.8	▲43.4
	半年後の業況	▲25.9	▲36.1	▲38.8	▲51.6	▲57.9	▲30.1	▲44.6	▲37.3
経営状況	売上	▲19.2	▲20.6	▲41.5	▲58.0	▲75.3	▲30.8	▲50.7	▲36.5
	採算	▲31.2	▲30.4	▲40.6	▲53.3	▲69.1	▲28.6	▲47.2	▲39.8
	引き合い／客数	▲6.3	▲12.8	▲26.7	▲60.7	▲72.8	▲23.1	▲46.7	▲29.0
	単価	▲2.4	▲5.6	▲11.3	▲38.8	▲36.3	▲11.3	▲26.3	▲15.8
	仕入価格	▲84.3	▲66.9	▲76.2	▲65.6	▲86.4	▲49.2	▲66.8	▲72.6
	資金繰り	▲24.5	▲11.2	▲25.5	▲42.4	▲51.3	▲26.1	▲36.4	▲29.3
	残業	▲8.1	▲13.6	▲25.5	▲20.6	▲58.8	▲16.5	▲26.3	▲18.6
	設備稼働	▲8.4	▲6.8	—	—	—	—	—	▲8.0
前期経営実績	売上水準	▲12.6	▲13.5	▲29.5	▲44.6	▲49.4	▲31.1	▲39.1	▲27.1
	利益水準	▲1.5	▲4.0	▲10.4	▲28.8	▲25.9	▲23.1	▲23.4	▲13.7
	在庫	14.5	▲6.9	10.6	▲1.8	12.5	▲8.1	1.3	4.7
	投資	▲8.5	▲15.7	▲18.6	▲20.0	▲19.8	▲14.2	▲18.3	▲14.7
	雇用状況	▲17.2	▲41.1	▲3.8	▲12.4	▲31.3	▲17.4	▲14.8	▲18.9

参考＜前回調査＞ 景気動向調査

		製造業	建設業	商業・サービス業					総合
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業	小計	
回収数		350	133	108	230	85	142	565	1,048
業況判断	現在の業況	▲25.8	▲16.8	▲48.1	▲60.1	▲63.5	▲30.3	▲50.8	▲38.2
	3ヶ月後の業況	▲24.2	▲17.6	▲42.1	▲54.3	▲43.2	▲33.1	▲44.9	▲34.5
	半年後の業況	▲20.1	▲24.6	▲42.1	▲47.5	▲39.5	▲31.9	▲41.3	▲32.1
経営状況	売上	▲12.9	▲14.3	▲18.5	▲32.2	▲2.4	▲23.2	▲22.9	▲18.5
	採算	▲27.4	▲22.6	▲35.2	▲41.2	▲23.2	▲23.4	▲32.9	▲29.7
	引き合い／客数	▲3.4	▲7.8	▲20.6	▲42.3	▲13.3	▲19.9	▲28.1	▲17.3
	単価	▲1.2	▲6.0	▲14.0	▲29.5	▲13.4	▲15.0	▲20.5	▲12.2
	仕入価格	▲76.6	▲67.7	▲74.1	▲57.9	▲73.5	▲43.0	▲59.7	▲66.4
	資金繰り	▲20.7	▲15.0	▲25.9	▲34.2	▲25.6	▲14.3	▲26.3	▲23.0
	残業	▲9.7	▲13.8	▲22.4	▲18.0	▲23.5	▲15.0	▲18.9	▲15.2
	設備稼働	▲10.9	▲6.5	—	—	—	—	—	▲9.7
前期経営実績	売上水準	▲25.0	▲26.5	▲40.7	▲52.6	▲77.4	▲34.5	▲49.5	▲38.4
	利益水準	▲8.6	▲4.5	▲22.2	▲33.6	▲67.9	▲17.6	▲32.5	▲21.0
	在庫	7.0	▲3.4	9.4	1.8	▲4.8	▲6.5	0.4	2.2
	投資	▲10.7	▲9.4	▲20.2	▲16.9	▲32.9	▲10.6	▲18.5	▲14.7
	雇用状況	▲13.6	▲42.7	0.0	▲13.0	▲18.1	▲22.5	▲13.7	▲17.4

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		172	162	61	65	310	241	543	468
業況判断	現在の業況	▲21.1	▲27.8	▲10.2	▲4.6	▲49.3	▲64.2	▲35.9	▲43.3
	3ヶ月後の業況	▲21.7	▲35.6	▲33.9	▲33.3	▲50.3	▲60.7	▲39.4	▲48.0
	半年後の業況	▲18.1	▲34.2	▲35.6	▲36.5	▲40.1	▲50.4	▲32.6	▲42.8
経営状況	売上	▲17.4	▲21.1	▲26.2	▲15.4	▲42.2	▲61.7	▲32.5	▲41.2
	採算	▲29.7	▲32.9	▲29.5	▲31.3	▲43.3	▲52.1	▲37.4	▲42.6
	引き合い／客数	▲5.2	▲7.5	▲8.2	▲17.2	▲43.3	▲51.0	▲27.1	▲31.3
	単価	▲2.3	▲2.5	▲9.8	▲1.6	▲21.0	▲33.2	▲13.8	▲18.2
	仕入価格	▲80.7	▲88.1	▲63.9	▲69.8	▲67.1	▲66.4	▲71.1	▲74.4
	資金繰り	▲18.7	▲30.6	▲9.8	▲12.5	▲33.0	▲40.8	▲25.8	▲33.3
	残業	▲4.1	▲12.4	▲4.9	▲21.9	▲25.8	▲26.8	▲16.4	▲21.1
	設備稼働	▲4.7	▲12.4	▲3.3	▲10.3	—	—	▲4.3	▲11.9
前期経営実績	売上水準	▲1.7	▲24.2	▲18.0	▲9.2	▲32.5	▲47.7	▲21.1	▲34.1
	利益水準	9.3	▲13.0	4.9	▲12.3	▲15.6	▲33.5	▲5.4	▲23.4
	在庫	21.6	7.0	▲10.2	▲3.5	3.7	▲1.7	7.8	1.1
	投資	▲4.1	▲13.0	▲21.3	▲10.0	▲16.1	▲21.1	▲12.9	▲16.8
	雇用状況	▲21.1	▲13.0	▲48.3	▲34.4	▲15.8	▲13.5	▲21.1	▲16.3

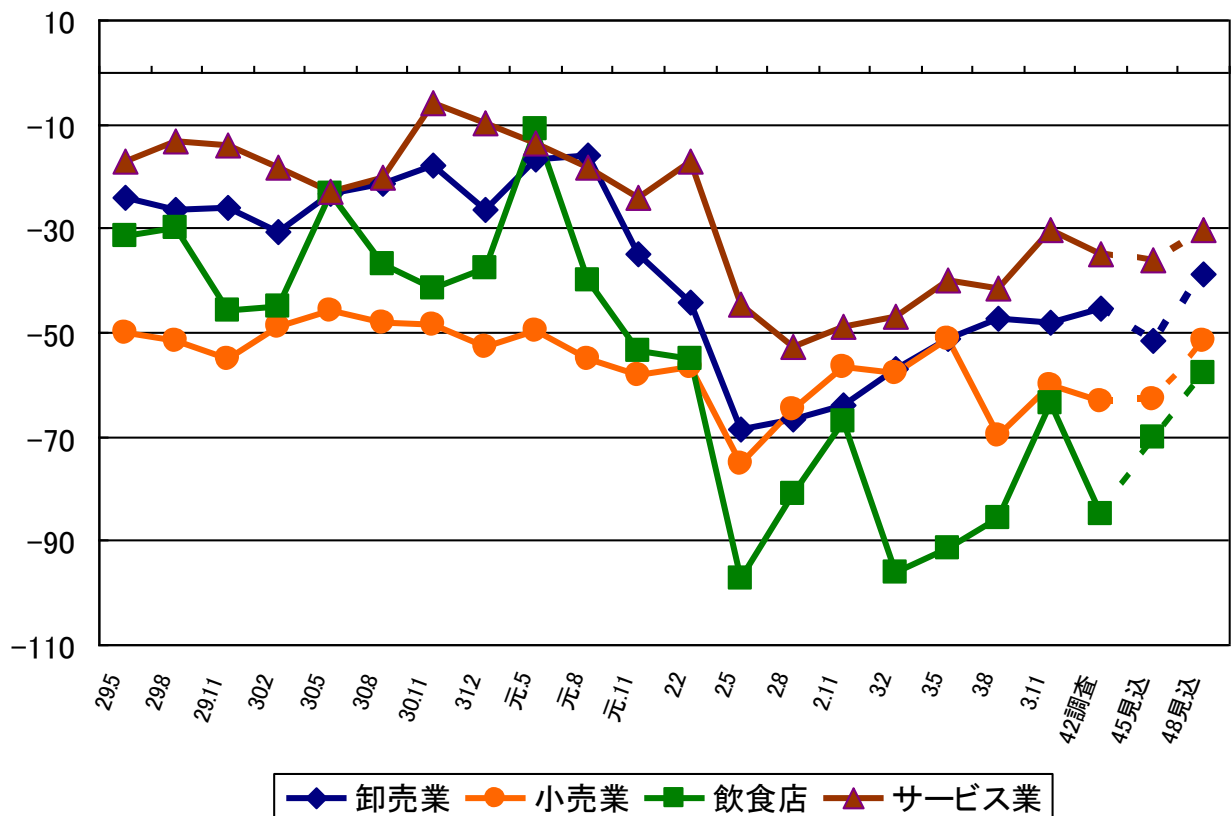
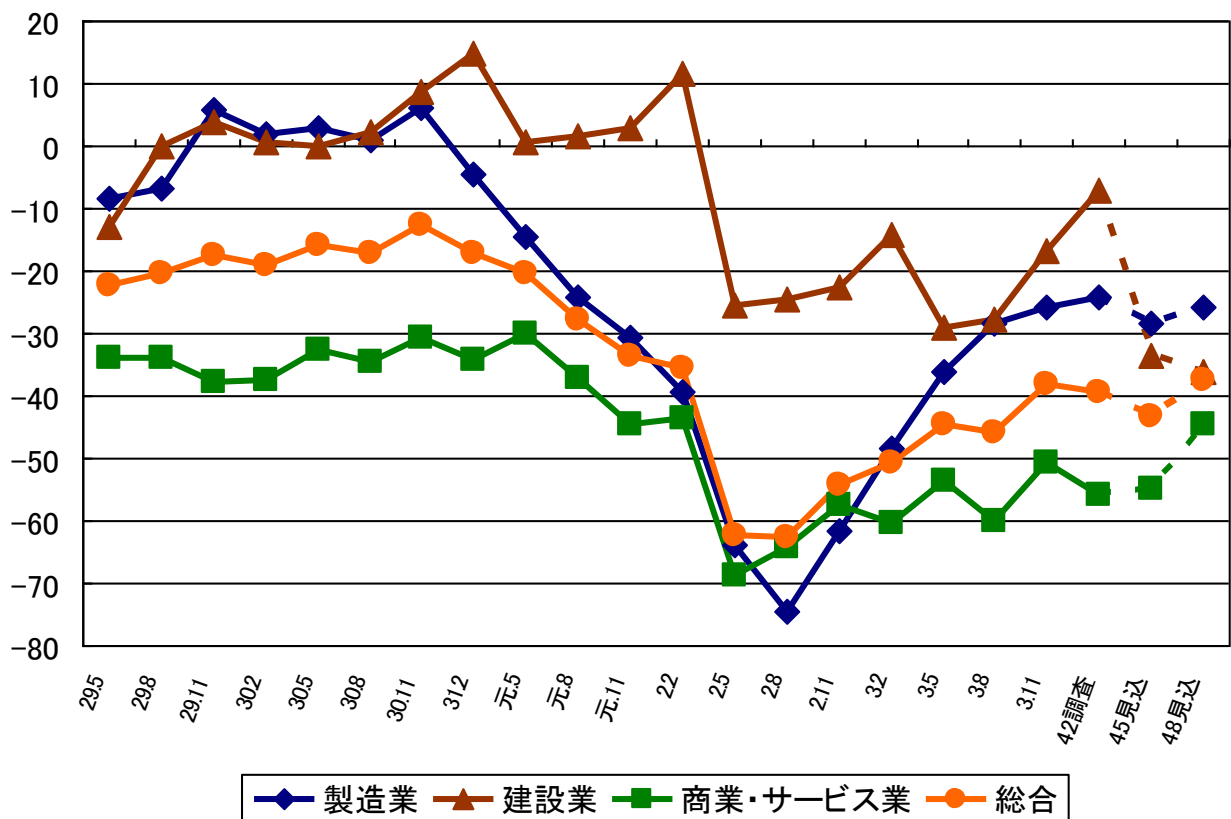
地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		259	129	97	108	105	94	115	104	1,011
業況判断	現在の業況	▲37.6	▲28.7	▲36.2	▲41.7	▲37.5	▲45.2	▲36.8	▲56.9	▲39.3
	3ヶ月後の業況	▲47.4	▲39.4	▲36.8	▲49.5	▲37.5	▲40.0	▲41.7	▲49.5	▲43.4
	半年後の業況	▲37.1	▲32.0	▲29.8	▲48.6	▲37.5	▲37.8	▲37.0	▲39.2	▲37.3
経営状況	売上	▲37.2	▲28.1	▲39.6	▲34.9	▲40.0	▲33.0	▲32.2	▲48.5	▲36.5
	採算	▲44.1	▲32.8	▲39.6	▲41.1	▲38.1	▲40.9	▲32.5	▲45.2	▲39.8
	引き合い／客数	▲30.7	▲19.7	▲31.3	▲32.7	▲31.4	▲31.2	▲22.8	▲33.0	▲29.0
	単価	▲23.7	▲6.3	▲18.8	▲19.0	▲17.1	▲10.8	▲8.8	▲12.7	▲15.8
	仕入価格	▲77.6	▲68.0	▲77.1	▲76.9	▲73.3	▲72.3	▲65.5	▲64.7	▲72.6
	資金繰り	▲27.2	▲27.3	▲36.5	▲32.1	▲27.6	▲33.0	▲22.8	▲33.0	▲29.3
	残業	▲16.8	▲13.3	▲23.4	▲19.8	▲20.0	▲17.4	▲18.0	▲24.3	▲18.6
	設備稼働	▲8.8	▲1.6	2.6	2.1	▲25.5	▲13.0	▲5.0	▲15.8	▲8.0
前期経営実績	売上水準	▲29.3	▲20.3	▲25.0	▲33.6	▲16.2	▲28.7	▲27.0	▲35.0	▲27.1
	利益水準	▲17.1	▲8.5	▲13.7	▲18.5	▲12.4	▲13.8	▲2.6	▲20.4	▲13.7
	在庫	6.3	0.0	▲1.1	2.9	5.8	10.6	0.9	12.0	4.7
	投資	▲12.7	▲6.3	▲7.4	▲23.3	▲14.3	▲26.9	▲9.8	▲22.8	▲14.7
	雇用状況	▲16.7	▲21.9	▲24.5	▲21.9	▲21.0	▲11.8	▲27.0	▲7.8	▲18.9

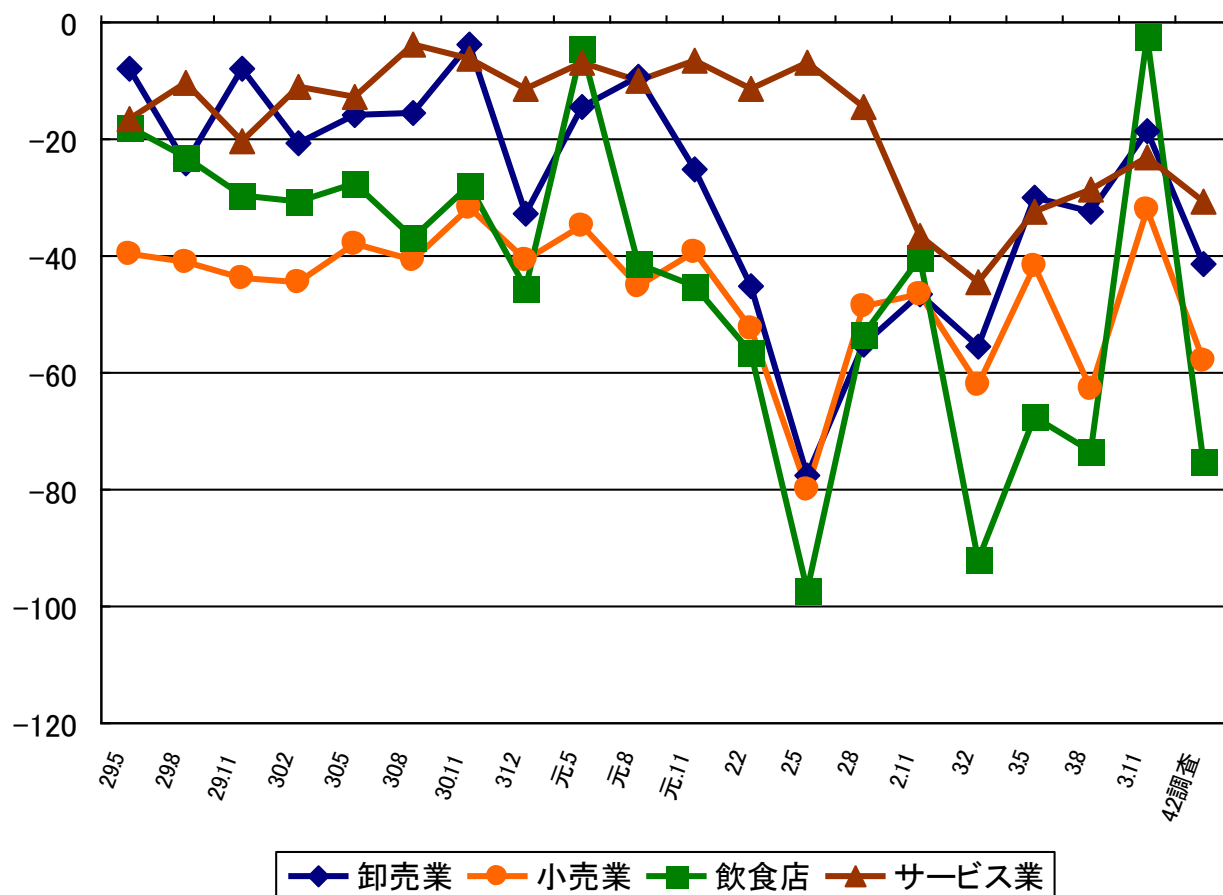
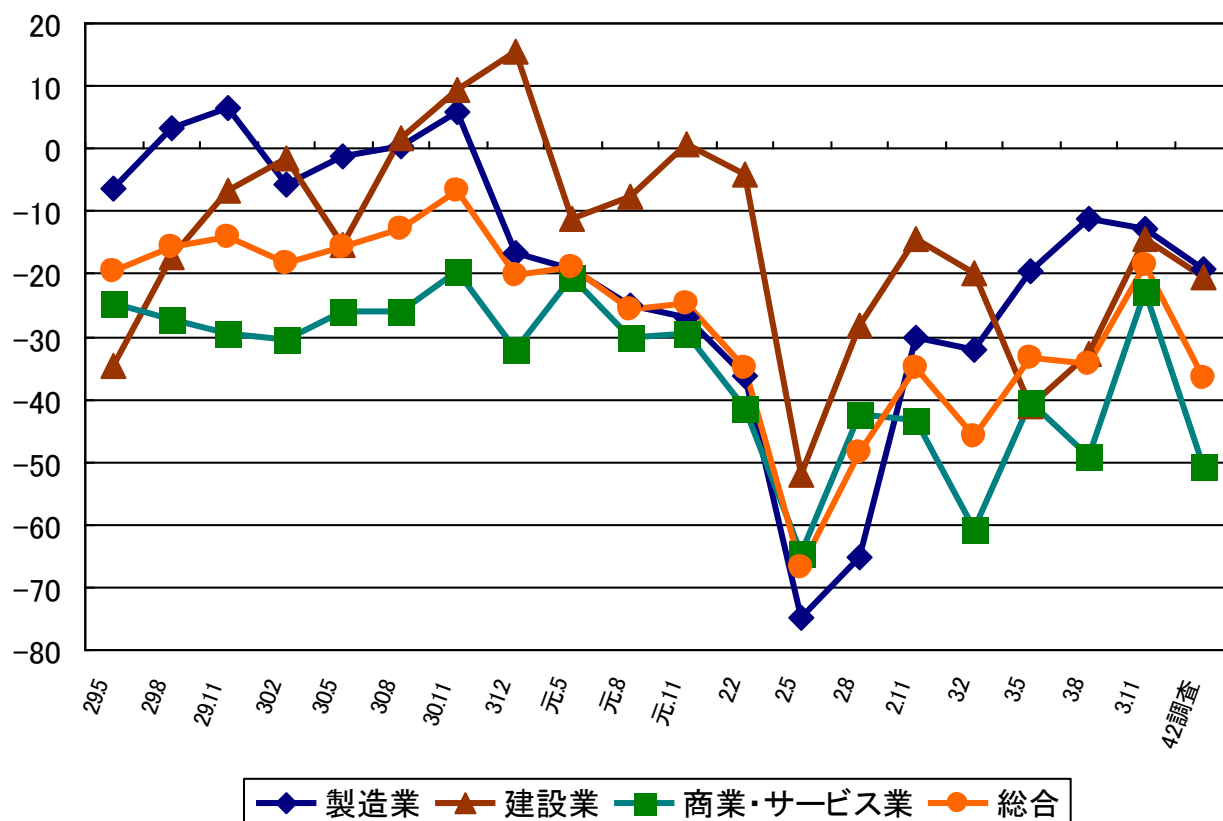
製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		91	72	48	123	334
業況判断	現在の業況	▲13.2	▲23.6	▲39.6	▲27.0	▲24.3
	3ヶ月後の業況	▲17.0	▲30.0	▲37.5	▲32.5	▲28.5
	半年後の業況	▲26.1	▲31.9	▲16.7	▲26.1	▲25.9
経営状況	売上	▲1.1	▲8.3	▲35.4	▲32.5	▲19.2
	採算	▲15.4	▲25.0	▲56.3	▲36.9	▲31.2
	引き合い／客数	3.3	5.6	▲10.4	▲18.7	▲6.3
	単価	0.0	▲6.9	▲2.1	▲1.6	▲2.4
	仕入価格	▲76.7	▲84.5	▲80.9	▲91.1	▲84.3
	資金繰り	▲15.6	▲18.3	▲33.3	▲31.1	▲24.5
	残業	▲6.7	8.3	▲25.0	▲12.2	▲8.1
	設備稼働	▲5.6	2.8	▲16.7	▲13.8	▲8.4
前期経営実績	売上水準	▲10.0	▲15.3	▲18.8	▲10.6	▲12.6
	利益水準	▲7.8	▲1.4	2.1	1.6	▲1.5
	在庫	16.3	15.3	15.9	12.3	14.5
	投資	▲6.7	▲8.3	0.0	▲13.1	▲8.5
	雇用状況	▲18.9	▲16.7	▲18.8	▲15.6	▲17.2

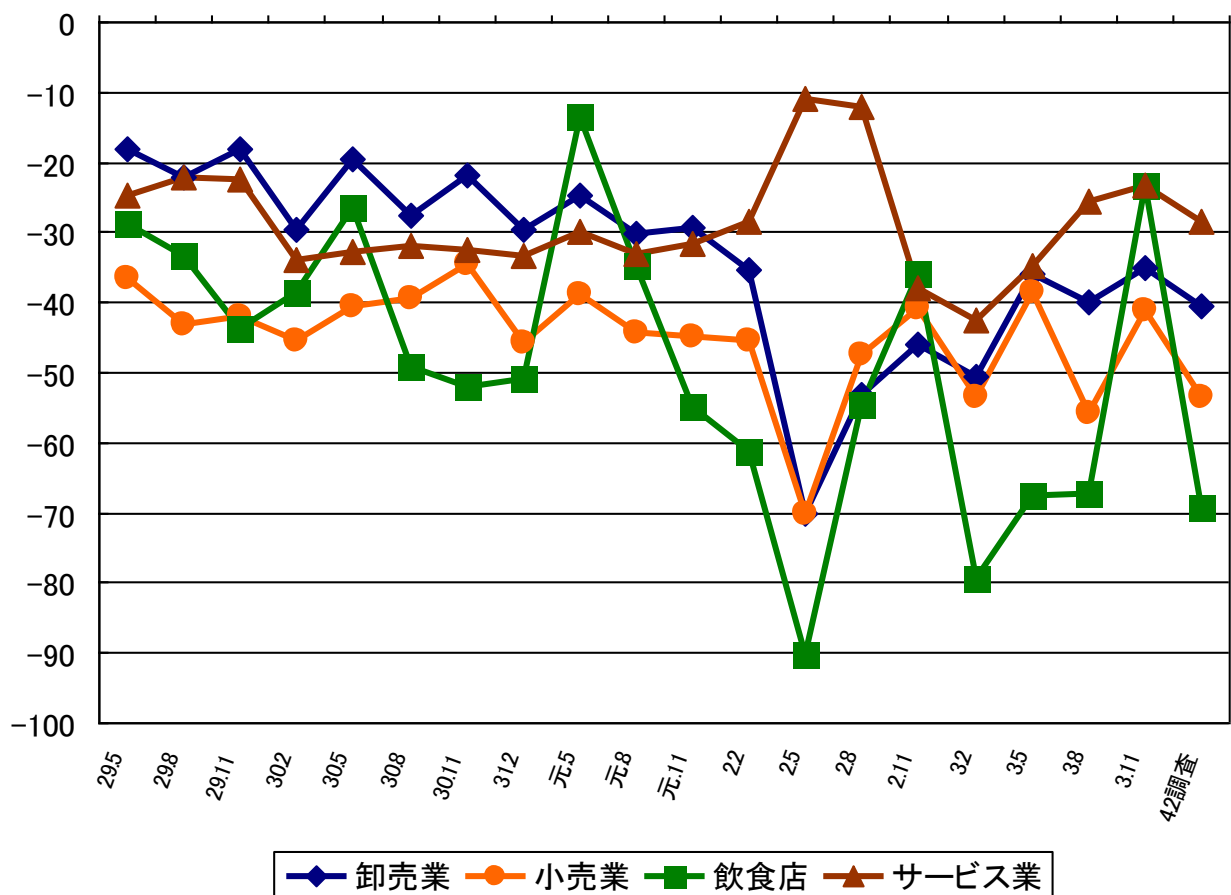
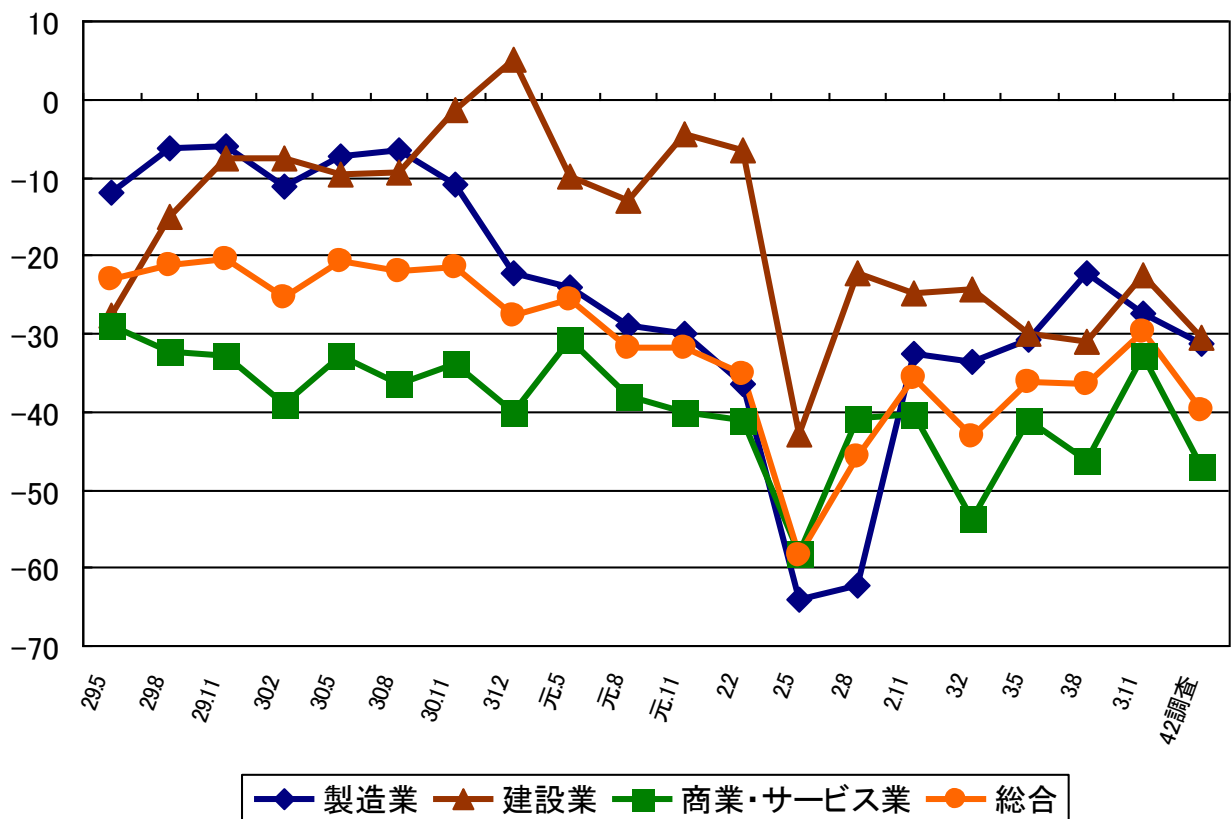
業況DIの推移



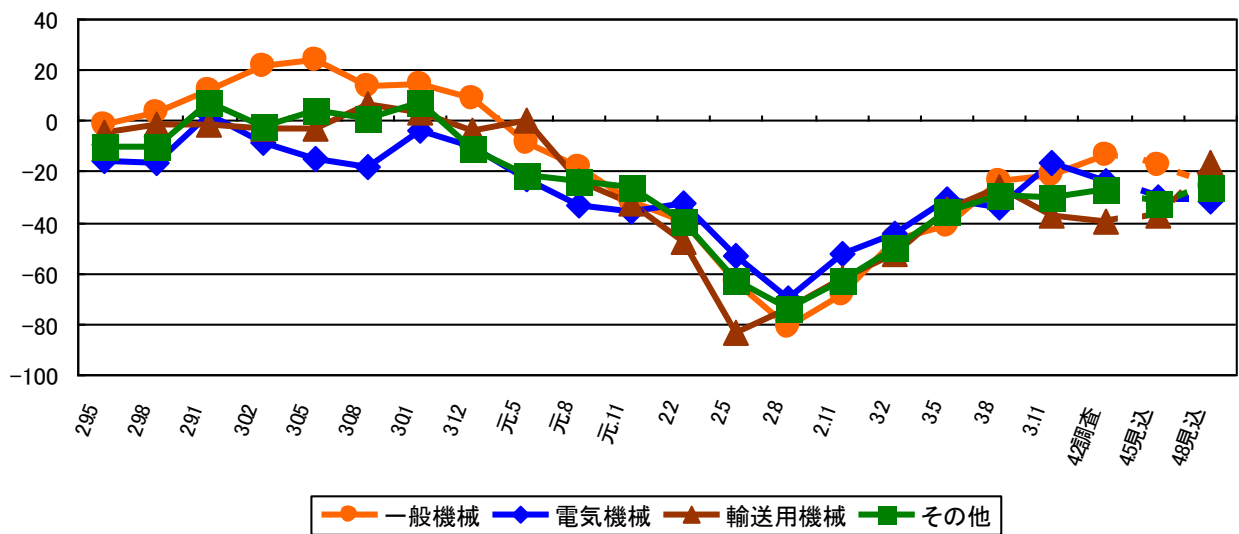
売上DIの推移



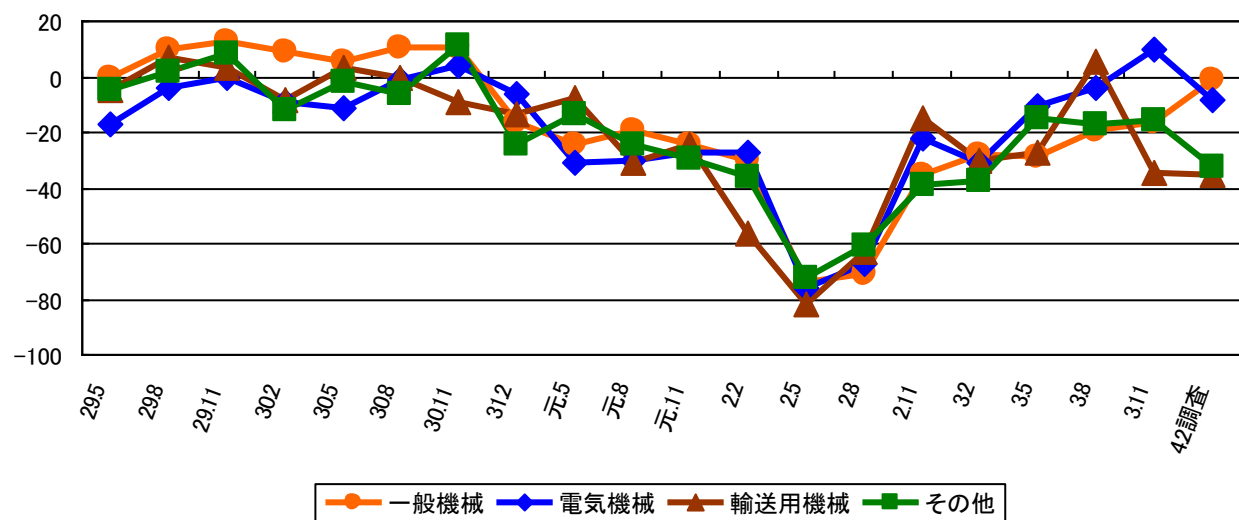
採算DIの推移



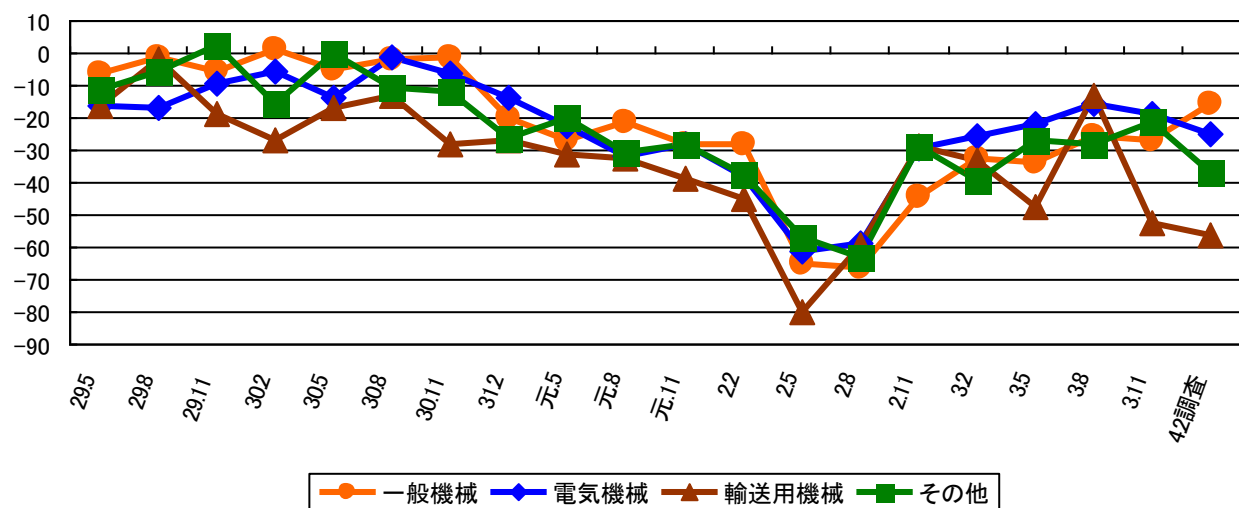
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



<製造業>

「自動車関連の受注は低迷しているが、精密機器（スマホ、ゲーム機等）の受注が伸び、全体として売上は安定している。」
「海外コロナ感染の影響で、国内生産切替により、受注増となっている。素材価格も高騰しているが、売価に転嫁できている。」
「引き合いは増えているが、材料価格の高騰や、購入品の不安定な納期は今後懸念される。得意先も同様に考え、選考発注を始めたが、注残だけが増える傾向。自社や協力工場がコロナで生産が停止する様な状況になると厳しくなる。」
「半導体等の電子部品、コネクタ等の部品の入手が非常に悪い。商社経由で購入できず、ネット購入も増えて調達費がUPしている。」
「受注は好調だが、一部の素材が入手困難になっており、不安視している。コロナ、オミクロン株の影響が心配。」
「自動車産業の減産に伴い、サプライヤーである自動車部品メーカーの設備投資への跳ね返りが遅い。（受注量は上期一杯、不調が続く。）」
「受注環境は好転しているものの、部品不足に伴う納期の問題や、海外拠点からの空輸便が多くなり、採算が若干悪化している。」
「燃料、都市ガス、油、購入資材の価格高騰により、差損が大きくなっています。価格交渉を行っています、難しいところです。」
「鋼材の値上がりは、まだまだ続いて大変です。」
「原材料不足により、前倒しの発注が行われているため、受注は伸びているが、どこかの時点で止まるのではないかという懸念がある。」
「当社主力先が自動車業界で、昨年7、8月に続き、本年1～2月は、生産ストップの調整があり、売上額は低迷中。」
「メインの電車駆動部品が低調で受注が減っています。まだ、上昇傾向にもならず、他の分野を開拓している状況です。」
「ディスプレイ、半導体製造装置が好調により、受注が増えている。今後も続くと思われるが、材料等の仕入に不安がある。」

<建設業>

「オミクロン感染増大で、社員及び、取引先担当者、発注側担当者の休みに伴い、出来高の遅れが出て来た。今後の資金繰りを心配している。」
「施工中の現場が終わり、一気に仕事が減った。大規模だけでなく、中規模の現場にも大手が来ている。」
「リフォームの業務の見積もりはかなり出しますが、なかなかまとまらない状況で、見通しが暗いです。」
「資材の値上がり、材料の不足等、良くない状況が多い。」
「人材不足のため、公共、民間工事とも受注が出来ない。」
「10月～12月は、未収金やコロナの落ち着きもあり、好調であった。1月～3月は、コロナ感染者の増加もあり、先行きが不透明。」
「道路補修工事量が安定しているため、業績が良くなっている。」
「設備機器の入荷が不安定なため、受注が減少。」
「昨年よりかは受注数が増えているが、依然としてコロナの影響はあるように思う。」
「資材高騰のため、経営が非常に厳しい。」

<卸売業>

「原材料の高騰により、利益が圧迫されている。また、コロナ感染防止対策で営業活動の自粛により、売上が伸びない。」
「季節変動の大きい業種なので、冬の売上高は通常減少します。今後の懸念は原材料費の高騰によるコスト上昇を販売額に適正に転嫁出来るかというところです。」
「お客様が安定しているので、コロナ禍でも売上・利益とも不変である。余裕がある体制を築くため、人材の採用、育成に努力していきたい。」
「コロナ、オミクロンにて、この2年間売上が落ち、販売促進向けの商品（POP等）の落ち込みがかなりあり、業績悪化となっております。」
「神奈川県も助成金を増やして欲しい。告知方法もSNSでしてほしい。仕入がかなり高騰しており、利益を圧迫している。」
「オミクロン感染が拡大してきています。先の見通しがわからない。新規商品も考えていたが、様子見です。」
「半導体不足により、顧客が半年以上先まで注文してくれる。」
「2年前、大きく減少していた売上は、少しずつ回復しておりますが、まだまだです。」
「主力分野である半導体装置メーカーにおいて、欠品が多く生産調整、停止が続いている。他の分野についても、欠品の為調整があり、受注への問題が発生している。」

<小売業>

「お客様がほとんど店の前を歩かなくなり、来店客が減少傾向。」
「去年12月は、少し経営状況が良くなったかなと感じましたが、今年1月からは全く客が来店せず、苦しいです。」
「オミクロン株が終わらない限り、良くなれないと思う。」
「不調の原因は、まさしくコロナです。また、蔓延等重点措置の発令により、益々来店が減り、購買意欲も減り、この先どうして行けばよいか分かりません。今は只、待ち続けています。」
「コロナでお客様を集めてのイベントが出来ないので、売上も立たない。」
「一昨年よりも少し上昇したが、まだコロナの影響があり、良くない。今現在、オミクロンの流行で先行きが心配。」
「コロナによりお客様訪問が出来ず、情報不足および、お客様が気分的に前向きになっていない。コロナの状況次第。」
「かながわPAYによる消費喚起は感じない。我々小売店は、PAY会社に手数料取られている。小売店はメリット小さい。」
「川崎地元応援券の利用がとても多いです。」
「顧客の設備投資が活発に推移している為、好調である。」
「賃貸先がコロナの影響で、業績が悪く、度々賃料の値下げを要求され、何度か減額に応じざるを得ない状況。」
「部品不足、生産遅れで納期が遅れて、売上が計上できない。納期が掛かり過ぎると、他社に逃げられてしまい、機会損失が発生する。」
「商品が不足しており、入荷が見込めない状況。おそらく来年度までは好転は見込めない。」
「コロナで営業活動が思うようにできない。3、4月は繁忙期になるが、コロナ以前の売上まで戻せるか不透明。店舗では初売り時には、来客・売上ともに好調だったが、コロナ急拡大により客足が伸び悩んでいる。」
「コロナにより「蔓延防止」の影響を主たる取引先たる飲食店が受けている為、間接的に酒類売上が減少。また、地域の夜間の人出が相対的に減っているのも売上減少要因。」

<飲食店>

「コロナ禍の影響により、夜の部の営業が全く振るわず、客足が遠のいている。オミクロン株の拡大によって、人の流れが止まっているよう。葉山は人が少ない。」
「予約だけの店なので、組数と人数を減らしているの、売上は仕方ないと思ってやっています。」
「10月はまだ制限があったので、厳しかったが、11月、12月は制限が解除になり、客足、売上共好調だった。しかし、1月21日から蔓延防止になり、客足が途絶え、売上も3分の1になる。コロナが毎週増え続けているので、更に厳しくなり、収益悪化は避けられないと思う。」
「令和3年8月より、令和3年11月頃まで、とても厳しかったです。県の借入が少し出来て助かりました。」
「店舗投資は、老朽化による買い替え及び、換気設備の充実のために拡充している。」
「協力金などでしのいでいる状況です。」
「これ以上時短等の締め付けがあると倒産する。」
「令和3年12月までは、コロナの影響をあまり感じなかったが、感染者数が増えた1月半ば頃から、かなり売上が落ち込む。」

<サービス業>

「WEB広告を利用し、ターゲットを絞り打ち出しているが、感染拡大の影響か、反響はとても少ない。新規顧客獲得が最重要課題。」
「コロナの影響が間接的にあるようで、利用者の状況の変化が著しく売上に響いている。急降下はしないものの、デコボコがある。順調とは言えない。」
「コロナによる在宅勤務、外出減により、クリーニングする衣料品が減少来客数も減少している。このままでは店を閉じなければならなくなる。飲食のみ、1日の売上の補助金があるのは不公平だと思う。商売を辞めたい！！。」
「企業の開発物件が少なくなっている。デフレスパイラルの中で、脱却する方法を早く実行してもらいたい。」
「ガソリン代など様々なものが値上がりしているので、利益率が悪くなっている。コロナも再拡大してきているので、今後の見通しは良くないと考える。」
「労働者派遣業であるが、コロナウイルスによる影響が再び増え、見通しが悪い。」
「売上単価に変化なし。在宅勤務（リモート）が多くなった。新卒採用を始めるので、収益面は厳しくなると思われる。」
「コロナが終息しないと仕事になりません。団体旅行が中心なので、先が見えない状況です。」
「海上運賃の異常高騰により、輸出控えが長期間続いており、先も見通せない。」